

ジュニア賞

みんなの物語

濱 七海 (高校2年生:山口県)

TRPGというゲームを知っていますか？ 進行役1人とプレイヤー複数人で行う少し変わったゲームです。

最初のブームは2～30年ほど前、それ以降なりを潜めひっそりと行われていましたが、最近ニコニコ動画やYouTubeのプレイ動画が注目を集め復活の兆しを見せ始めています。TRPGのRPGは分かる方が多いと思いますが、Tは一体何なのか？ TはトークのTです。進行役がストーリーを進め、プレイヤー複数人が話しあいながらそれぞれの発想と運を活かし、サイコロで行動の成功と失敗を判定しながら1つのシナリオをクリアする。それがTRPGなのです。ではこのTRPGがどのように社会に役立つのか。

まず一つ目がコミュニティ能力の上昇です。先述したとおりTRPGは話しあいながら進めるゲームです。自分の置かれた状況でどのように情報を伝えるか、また、どのように手分けをして探索するか、すべて言葉にしなければ相手には伝わりません。くわえてTRPGは初対面の人とともにプレイすることも少なくありません。初対面の人だからといって尻込みしていたらいつまでたってもシナリオはクリアできないので、初対面の人と積極的に会話する力も必要となります。限られた時間の中でいかに効率よく、そして正確に情報を伝えられるか、それがクリアの鍵となります。そのため繰り返しTRPGを行うことで自然とコミュニティ能力がついていくのです。

二つ目が考える力を鍛えることです。TRPGは自由度が非常に高く、人の数ほど面白い展開が作られます。例えば探索している家の中に謎の液体が入った小瓶があったとしましょう。この液体はなんなのか？ 毒なのではないか？ 毒かどうかをどう判断すればよいのか？ 判断方法はたくさんあります。銀製品を液体に浸ける、医学や薬学のスキルを持っているキャラクターに鑑定してもらう、自分の記憶や知識に頼る、本で探す、敵にぶっかける、自分で飲んでみるなんてことも可能です。このようにある程度行動の自由が与えられているので、自分の知識や経験を十分に活かすことができます。また、TRPGのシナリオには推理要素のあるものが多く、情報を集めながら推理していくことも重要です。自分の持つ情報からその時するべき行動を考える力も必要となります。コミュニティ能力、情報の正確な共有、そして考える力、この3つの力は社会で役立ちます。最近の社会では他人に指示されなければ行動することが出来ない人が増えてきています。自分で考えて行動する力を身につけるにはTRPGはうってつけなのです。現在、TRPGをプレイする際は実際に集まってプレイするかボイスチャットで人数を募集しプレイする方法が一般的です。そのため周りにTRPGを知ってる人がいなかったり、パソコンがない人にとっては手を出しづらい状況にあります。これを改善できるものがあるとすればスマートフォンやPlayStationです。もしも普及率の高いスマートフォンから参加できるようになれば初めての人でもTRPGをプレイしやすくなりますし、PlayStationであれば容量も大きいのでTRPGを行ううえで役に立つ機能も備え付けられます。

あらかじめキャラクターイラストを自分で描いてデータを送り、作ったステータスに合わせてイラストを選んだり、画面上でサイコロを振ったり、進行役用のメニューを作るなど、シナリオプレイ時に必ず必要となるものを備えつけばユーザーも増えるでしょう。

TRPGの良い点は人と人との確かな繋がりができることです。ただ画面を見ながら作業をするのではなく、意見を交し合い着実にクリアへと進み、クリアすることで互いに信頼関係を築くことができます。SNSなどでの表面上の付き合いが増える現代においてはまさに夢のゲームではないでしょうか。これを機に多くの方々にTRPGの存在を知ってもらい、是非プレイしていただきたいです。